

# 2015 年度活動報告

## 【ネパール大震災復興支援プロジェクト】

2015 年度の関ゼミは従来通りアジア圏での学生交流に向け、現地で催すダンスの練習や日本文化紹介の準備を始めていたが、開始早々ネパールで大震災が発生。

その日のうちに SNS で世界中の仲間たちに呼びかけ、支援の輪を広げる活動を開始、世界へ発信した最初のメッセージ写真は 250 万人もの人々に届く大反響があり、ゼミ内容は急遽方針転換、まだ数回しか顔合わせしたことの無いゼミ生たちの怒涛の一年が始まった。



## 【自分たちで考え、行動する】



震災後 1 回目の授業で私たちに何ができるのかを話し合い、関ゼミの先輩方が過去のネパール研修で現地の「笑顔」がもたらす力を学んで来られた事から、今度は私たちが笑顔を届ける番だと、動画によるメッセージ配信、特注ラバーバンドの販売、街頭募金活動など、ゼミ生が一丸となって復興支援プロジェクトに取り組んだ。

## 【実際にネパールへ】

私たちの活動はテレビニュースや新聞各紙に取り上げられ、一躍大学を牽引するゼミとなった。そして実際に現地へ行き笑顔を届けるとともに「英語に限らず相手に通じる言語の大切さ」と「相手の文化を尊重し、理解しようとする姿勢の大切さ」を学び、本来のゼミの目的である多文化理解をも深める事が出来た。帰国後には大学の一教室にお集まりいただいた 130 名以上の来場者を前に活動報告を行い、2015 年度の関ゼミを締めくくった。



## 【ページ作成者】



- ・石井侑登 (2017 年卒)
- ・学部：経済学部国際経済学科
- ・職業：セコム株式会社

### <現ゼミ生へのメッセージ>

私にとってあの激動の一年をともに乗り越えたゼミの仲間たちは宝物です。2015 年度の関ゼミは従来のアジア圏での学生交流に加え、急遽発足した Mero Sathi Project も並行して行うという特殊な年度であり、活動

内容が非常に多くゼミの授業内では到底準備が追い付かない状態でした。しかし当時の私たちには「じゃあまた来週のゼミの授業でね」という考えは無く、皆授業後も必死に準備に取り組み、気が付けば帰宅後も、授業がない日も常にSNS上で準備、意見交換をしておりもはや家族のような存在でした。社会人になった今、大学の友人と聞いて最初に思い浮かぶのはゼミの仲間たちであり、よく集まるメンバーもゼミの仲間たちです。是非みんなで同じ目標に向かい、一緒に辛い事やうれしい事を共有して行って下さい。そして何か困ったことや相談事があれば、いつでも私たち卒業生を頼って下さい。応援しています。